

もくじ

- 2 “連載コラム Vol.5”
- 3 9月定例会概要、議案審議質疑
- 5 審議結果一覧(賛否の分かれたもの)
- 6 一般質問
- 12 決算特別委員会
- 15 常任委員会等活動報告
- 16 ちよっと一言、編集後記ほか



写真：矢沢地区交通安全パレード

はなまき市議会だより

花の風

第60号

令和元年11月1日



地球温暖化

今世紀末には海面は1.1m上昇する

「被害を受けている人たちがいる。死につつある人たちがいる。生態系全体が崩壊しつつある。30年以上、何の曇りもなく科学は示してきたのに、どうすれば目をそらし、これで十分だなどと言えるのか……」。

ニューヨークの国連本部で9月23日に開催された気候行動サミットは、若者とグテレス国連事務総長の対談で始まり、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさん(16)は声を震わせながら各国首脳らを激しい言葉で追及しました。

グレタさんは、首脳らに対し、「私たちは大量絶滅のどば口にある。でも、皆さんが口にできることと言えば、お金のことと、経済成長は永遠に続くというおとぎ話だ」と怒りを吐露。「未来の世代の目は皆さんに注がれている。もし私たちが裏切ることを選ぶなら言おう、私たちは皆さんがこの問題から逃げることを許さない」と取り組みの加速を求めました。

国連の温暖化対策サミットを控えた金曜日9月20日、世界各国で一斉に温暖化対策を訴えるデモが行われ400万人以上が参加しました。

グレタさんは「私の話など聞かなくていい、科学者の話を聞いてほしい」と訴えています。地球規模の持続可能性に関する分野で国際的に知られる環境学者のヨハン・ロックスストローム氏は、「20世紀半ばから爆発的に拡大した人類の活動が、地球の状態を大きく変え、私たち自身の繁栄の基盤を壊しつつあります。私たちは、限らない地球の自然を使って、永久に発展できると勘違いしていました。今や、地球が安定的に機能する『プラネタリー・バウンダリー』(地球の限界)の範囲内で豊かさを求める、新しい経済・社会パラダイムが求められています」と呼びかけています。

私たちの日本でも毎年のように地球温暖化による大きな自然災害が多発しています。最近では台風15号による千葉での強風災害も発生しています。

人間の生命の起源は地球です。その地球が温暖化ガスによって灼熱の星へと変わりつつあり、世界規模の運動と努力によって温暖化ガスを削減しなければなりません。国連気候行動サミットでは二酸化炭素排出国の上位を占める中国は新たな目標を出すに至らず、米国は温暖化そのものを否定し、パリ協定からの離脱を表明しています。各国の足並みがそろわない中で、グレタさんが必死に訴えているのは未来に生きる人間としての責任感からです。私は彼女の訴えと行動に感銘を受け、私に関わる様々な分野で地球温暖化防止の行動を呼びかけていきたいと思っています。

(広報広聴特別委員会委員 久保田彰孝)



台風19号により冠水した市内の水田

(2019年10月13日)

幼児教育・保育の無償化に伴い 条例を改正

令和元年第2回花巻市議会定例会(9月定例会)は9月6日から9月30日までの日程で開かれました。初日の本会議では、提出議案についての説明がなされたほか、市長による行政報告が行われました。

また、決算特別委員会が設置され、平成30年度花巻市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど7件の議案が付託されました。

9月9日、11日、12日は一般質問に13人が登壇し、市政について質問したほか、17日には議案審議が行われました。

提出された議案中で、子ども・子育て支援法の一部改正に伴う市立保育所の副食に要する費用の徴収を定めた条例については、議員から費用の徴収を規定する条



子育て支援で10月から幼児教育・保育の無償化に
(花巻幼稚園)

項を削除する修正案が提出されました。審議の結果、修正案は否決、原案が可決されました。

また、(仮称)道の駅「西南」新築(建築工事の請負契約の締結、助産師等確保対策事業などを盛り込んだ令和元年度花巻市一般会計補正予算(第2号)など、13件が原案どおり可決されました。

主な可決議案や質疑は以下のとおりです。

○花巻市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正

可決

要旨… 幼児教育・保育の無償化に伴い、市立保育所の副食に要する費用の徴収について定めるほか、条例の題名を改めるもの。

質 疑

- 質問 … 給食は食育であり、保育計画の中に位置づけられている。つまり保育であり保育料に入っているのではないかと。それが今度保育から切り離されて実費徴収される。これは矛盾ではないか。
- 答弁 … 食育という観点で給食は保育に入るが、副食費は保育料の中に含まれてこれまでも保護者に負担をいただいていた。この観点から保護者に負担をしていただくというもの。
- 質問 … 保育の無償化というなら、保育の一環である食育の部分も無償化すべき。保育料の軽減財源が2億3,000万ある。この財源を活用して副食費の援助は十分可能ではないか。
- 答弁 … 公立保育園、法人立保育園に係る軽減財源だが、市として全く拠出しなくてもよくなるというものではない。地方交付税算入の関係、基準財政算定需要額の係数等の考え方も不透明である。

動 議

- 修正案の動議**… 議案第64号「花巻市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例」に対し、修正を求める動議が修正案を付して提出されました。
- 修正案の要旨**… 議案第64号のうち、副食費に関する費用の徴収を規定する第5条を削除するもの。
- 採決**… 議案第64号に対する修正案であるため、同議案の採決の前に修正案の採決が行われました。その結果、賛成少数で**修正案は否決**されました。

○(仮称)道の駅「西南」新築(建築)工事請負契約の締結

可決

要旨… (仮称)道の駅「西南」の新築工事について、1億8,326万円で株式会社照甲組と契約を締結しようとするもの。完成期限は令和2年6月30日。

質 疑

- 質問… 今回は建築工事に関して議決を求められているが、開業するまでの工程表はできているか。
- 答弁… この後、機械設備や電気設備の工事、さらに来年になると思うが関連する県の工事等が入ってくる。それらの契約がしっかり決まらないと具体的な工程は見えてこない。

道の駅完成予想図
(※公募により名称は「はなまき西南」に決定しました)



○国土利用計画花巻市計画(第2次)の策定

可決

要旨… 現行計画策定から10年が経過しており、近隣市における企業立地の動向や本市を取り巻く状況変化に応じて、土地利用転換構想を計画に反映させる必要があるため、現行計画を改定し令和7年度を目標年度とする第2次計画を策定するもの。

質 疑

- 質問… 本計画は大まかに農地や森林を減らして、住宅地や工業用地を増やすものとなっているが、工業用地66ヘクタールの場所と面積は。また、都市的土地利用の沖田地区(上諏訪)の面積はどれほどか。
- 答弁… 南寺林12ヘクタール、二枚橋5ヘクタール、流通業務団地付近5ヘクタール、実相寺山の神地区28ヘクタール、スマートインター予定地付近13ヘクタール、既存立地企業の工場分3ヘクタール。なお、沖田地区の面積は15ヘクタールである。
- 質問… 産業団地誘導の場合、ある程度この場所にはこういう業種というように絞っているのか、どの業種が来てもよいのか。
- 答弁… 現時点で、この場所にこの業種と絞っているものではない。今後いろいろな状況の調査、ニーズを踏まえながら検討していく。
- 質問… 目標年度の令和7年度には産業団地や住宅造成で用地が大体埋まるのか、達成できるという事前での見込みか、計画のまま終わるといふこともあるか。
- 答弁… 令和7年度の土地利用の構想を見込んでの計画である。目標数値になっているが必ずしもその数値になるというものではない。開発計画が出てきた場合、およそそういう数値になるであろうという数値である。

○令和元年度花巻市一般会計補正予算 (第2号)

可決

要旨 … 歳入歳出予算の総額に8億8,703万7千円を追加するもの。主な内容は助産師等確保対策、道の駅石鳥谷の施設再編整備、イーハトーブ花巻応援寄付金の推進、振興センター等整備事業など。

質疑

- 質問 … 助産師等確保対策事業費1,035万2千円の具体的内容は何か。
- 答弁 … 市内の産科医療機関に助産師あるいは看護師として就職される方へ支援するもの。就職にあたっての必要経費への補助金交付、就職される方の0歳～2歳の子どもの保育料助成、家賃支援、奨学金の返済支援、貸付金などである。

令和元年 第2回定例会 【審議結果】

※賛否が分かれた議案番号および議案名は 次の表のとおりです。
また、議員ごとの賛否は下の一覧表のとおりです。

| 議案番号 | 議案名 |
|------|--|
| 64 | 花巻市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例 |
| 65 | 花巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 |
| 70 | 令和元年度花巻市一般会計補正予算(第2号) |
| 74 | 平成30年度花巻市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について |
| 75 | 平成30年度花巻市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について |

| 議案番号 | 市民クラブ | | | | | | | | | | 明 和 会 | | | | 花巻クラブ | | | | 平和環境 市民クラブ | | 日本共産党花巻 市議会議員団 | | 会派に所属 しない | | 審議結果 | | | |
|------|-------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|-------|------|------|-----|-------|------|------|------|---------------|-------|-------------------|-----|--------------|------|------|-----|----|----|
| | 横田忍 | 佐藤現 | 伊藤盛幸 | 高橋修 | 瀬川義光 | 内館桂 | 鎌田幸也 | 佐藤峰樹 | 盛岡耕市 | 藤原伸 | 伊藤源康 | 藤原晶幸 | 羽山み子 | 佐藤明 | 本館憲一 | 近村晴男 | 照井省三 | 若柳良明 | 阿部一男 | 久保田彰孝 | 照井明子 | 櫻井肇 | 菅原ゆかり | 藤井幸介 | | 大原健 | | |
| 64 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 可決 | | |
| 65 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| 70 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| 74 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 75 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 認定 |

○は賛成、●は反対、議長は表決に加わりません。上記以外の議案は全会一致で可決。

新たな過疎対策法制定に 関する意見書を提出

定例会最終日には、総務常任委員会委員長から意見書の提出について提案されました。

過疎債の70%が後年度に交付税措置される過疎地域自立促進特別措置法は令和3年3月に失効を迎えることから、次の3つの要望を付した意見書です。審議の結果、全会一致で可決されました。

1 現行過疎法の期限終了後も、引き続き過疎地域の振興が図られるよう、現行法の延長または新たな過疎対策法を制定すること。

2 現行過疎法の期限終了後も、過疎市町村が取り組む事業が円滑に実施できるよう、過疎対策事業債及び各種支援制度の維持・拡充を図ること。

3 現行過疎法の期限終了後も、現行法第33条の規定による「市町村の廃置分合等があった場合の特例」を引き続き設けること。

※意見書全文は市ホームページに掲載しております。

9月定例会 一般質問

9月定例会では、13人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

令和元年第2回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）

| | |
|------------------------------|---|
| 久保田 彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団) | ①災害公営住宅について ②農業について |
| 伊藤 盛幸 議員 (市民クラブ) | ①広報広聴について ②市有財産の活用について ③民生委員・児童委員の人材確保について ④振興センター指定管理業務委託料について |
| 藤原 伸 議員 (明和会) | ①個人情報の取り扱いについて ②新たな県立高等学校再編計画(後期計画)について ③市内電気工事業者の育成について |
| 近村 晴男 議員 (花巻クラブ) | ①国際リニアコライダー(ILC)について ②豪雨災害への対応について ③早池峰山の高山植物保護対策について |
| 若柳 良明 議員 (平和環境社民クラブ) | ①公共交通について ②公共施設のバリアフリー化について ③包括的業務委託について |
| 照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団) | ①自治体戦略2040構想について ②花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針について |
| 高橋 修 議員 (市民クラブ) | ①人・農地プランについて ②産前・産後について |
| 羽山 るみ子 議員 (花巻クラブ) | ①期日前投票について ②空き家対策について ③台温泉地区に残存する施設について |
| 照井 省三 議員 (平和環境社民クラブ) | ①県立高等学校再編計画について ②公立保育園再編指針について |
| 櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団) | ①幼児教育・保育の無償化について ②韓国との交流について ③岩手医科大学矢巾新附属病院への連絡バスについて |
| 瀬川 義光 議員 (市民クラブ) | ①市内事業所における外国人材の受け入れについて ②農業振興について |
| 菅原 ゆかり 議員 (会派に所属しない) | ①読書環境について ②産前・産後について |
| 藤井 幸介 議員 (会派に所属しない) | ①公共施設の老朽化対策について ②公用車の運行について ③投票率の向上について |



この街並みにも空き家が…

市の空き家バンクと岩手銀行の連携により、一定の利子条件を満たした場合、店頭表示金利より0.5%引き下げた金利での借り入れが可能である。市として利子助成は考えていない。

A 市長

Q 空家解体費用に係る利子助成について伺う。

羽山 るみ子 議員

空家対策

農業振興

Q 久保田彰孝 議員

農業従事者の長期にわたる減少傾向と高齢化への対応策である「農業次世代人材投資事業」の現状等について伺う。

A 市長

この事業は、就農前の研修期間に資金を年間最大150万円交付する準備型と、農業の定着に向け資金を年間最大150万円交付する経営開始型の2本立てで構成されている。

準備型ではこれまでに5名の研修生が利用し、研修終了後に全員が農業経営を開始している。

経営開始型はこれまでに31経営体36名に資金を交付し、このうち2経営体の方が病気等

によりやむを得ず農業経営を中止している。



将来の農業経営の担い手の確保が求められる

Q 瀬川 義光 議員

支援対象とならない定年によるUターン就農者や親元就農者への支援について伺う。

A 市長

Uターン就農者については住宅支援の補助事業を年齢にかかわらず行っている。

親元就農者については両親および親族の経営の継承となるため、補助対象とはならない。

Q 高橋 修 議員

人・農地プランの実質化を進めるにあたって、本市の取り組み姿勢について伺う。

A 市長

現在、花巻農業協同組合、農業委員会等の関係機関と協議を重ね、役割分担や今後の進め方を協議している。今後は、アンケートによる現状調査や地図を作成し、地域の方々や各農家組合と実質化に向けて具体的に進めていく。

自然保護

Q 近村 晴男 議員

早池峰山の河原の坊登山道が大崩落した箇所にはどのような高山植物が生育していたのか調査が行われているのか伺う。



河原の坊コースの急斜面に咲くヒメコザクラ

A 市長

河原の坊登山道は通行禁止されていることから、どのような高山植物が生育していたかなどの調査は行っていない。また、県とこの件に関する協議は行っていない。なお、岩手県自然保護課職員による現地調査は定期的に行われているとのこと。

入札参加資格

Q 藤原 伸 議員

電気設備工事の市営建設工事請負資格業者を、市内に本社を有しない業者に工事資格者と認定しているのはなぜか伺う。

A 市長

運用基準により資格名簿に記載された業者で市内に本店を有するものと定められている。工事の種類により適正に施工することが困難であり、また複数の業者が存在しないため競争性が確保されない場合、市外業者を資格者名簿に記載する必要がある。

地方創生

Q 照井 明子 議員

自治体戦略2040構想に対し全国市長会から、今の地方創生の努力に水を差すと批判が出ていることについて所見を伺う。

A 市 長

この構想では圏域マネジメントと2層化の柔軟性として、圏域単位での行政をスタンダードにするなどの法律上の枠組みを設けることなどが必要と記載されている。

本市を含む地方自治体が、地方創生総合戦略を作成し自主独立の精神で頑張っている中で、圏域という新しい体制を法制化しようというところに批判的な意見には同感である。

今後も圏域情勢に対する国と地方の議論は続いていくものと理解している。

Q 照井 明子 議員

総務省が示した自治体戦略2040構想についてどのように捉えているか。

また、地方自治体の最大の責務である住民福祉の向上に寄与されているか伺う。

A 市 長

人口減少下において、構想の内容の評価は別として、人間尊重の社会を構築することは重要な問題と捉えている。今後、財源が大きく増えることは難しい中、高齢化や少子化に伴い行政需要は拡大することも想定される。

市職員の数的大幅に増加させるのではなく、スマート自治体の考えを活用することは必要と考えており、日常業務の改善に取り入れていくように進めている。

投票率向上

Q 藤井 幸介 議員

投票率の向上に向けて、(仮称)選挙投票記録手帳の交付についての考えはないか伺う。

A 選挙管理委員会委員長

この提案は、投票に行こうという動機づけにつながる良い取り組みと考える。

しかし、限られた人員による事務従事者が対応できるかという問題や、経費に見合った効果が期待できるかなど、実施については検討が必要と考える。

Q 羽山るみ子 議員

投票が困難な方々のために、移動式投票所の開設について伺う。

A 選挙管理委員会委員長

市内では24の病院や老人ホームなどが県の指定施設になっており、

不在者投票を行っている。

また、要介護5の方は郵便による投票が可能であり、要介護4と3の方まで対象を広げることにも検討中。移動投票所については考えていない。



投票用紙まだまだ入ります

A 市 長

広報はなまきにも掲載したが、太田・笹間地区の交通手段を確保するため、10月1日から「西南地域予約乗り合いバス」を運行する。運行日は月・木曜日と火・金曜日を隔週で交互運行する。

バリアフリー化

Q 若柳 良明 議員

公共施設のバリアフリー化計画について伺う。

A 市 長

市の建物施設を新築または改築する場合は、公共的施設整備基準に適合した入り口や廊下、スロープ、エレベーター、多目的トイレなどを整備している。既存の施設は平成27年度に策定した「花巻市公共施設白書2015」に沿ってバリアフリー化を推進している。

路線バス

Q 若柳 良明 議員

路線バス柵内線が9月末に廃止することに伴い、対応策としての予約乗り合いバス交通について伺う。

妊婦健康診査

Q 菅原ゆかり 議員

妊婦健康診査では現在14回まで無料で受診できるが、予定日より遅れた場合のために15回まで拡充する考えはないか伺う。

A 市長

国が示している妊婦健康診査の実施基準は10回程度となる。岩手県が毎年、県産婦人科医会と協議を行っており、本年度の健康診査回数は14回で、健診の検査項目と参考価格が示され、これに準じて実施している。15回目の健康診査の費用助成について、妊婦の方からの要望や医療機関からの必要性の指摘は受けていないが、41週や42週での出産もあるので妊婦健診についても検討が必要と考える。



花巻市の母子健康手帳

Q 高橋 修 議員

本市において、分娩を取り扱う産婦人科医療の確保策について伺う。

A 市長

現在当市では、2つの医療機関で産科診療を行っている。うち、KUBOクリニックは来年3月をもって、産科診療を終了すると発表された。このことを踏まえ、産科診療医療体制を維持するため、市内産科医療機関に勤務していただける助産師および看護師の確保対策事業を予算化し9月定例会に提案した。

ドライブレコーダー

Q 藤井 幸介 議員

公用車のドライブレコーダー搭載状況について伺う。

A 市長

当市における公用車は消防車両を含めて480台所有している。うち、ドライブレコーダーは188台に搭載している。安全運転管理者に対する講習会でも花巻警察署長から助言を受けており、今後2年間で全車両に搭載する予定となっている。



公用車に搭載されているドライブレコーダー

民生児童委員

Q 伊藤 盛幸 議員

民生児童委員の選出区ごとに、活動を補助する新たな委員を市独自に確保する考えはないか伺う。

A 市長

社会福祉協議会に委託して、高齢者等の見守り活動を行う地域福祉訪問相談員を現在10名選任し配置している。今後、民生児童委員の活動を相談員の方々が補助し、役割を果たしていただきたいと考えている。また、必要に応じては相談員の増員も検討し、負担を軽減していきたい。

振興センター

Q 伊藤 盛幸 議員

振興センター指定管理業務委託料のうち、

次期基本協定において人件費を見直す考えはないか伺う。

A 市長

次期指定管理者の指定期に際し人件費の積算にあたっては、雇用の実態把握をすとも人件費以外の費用の支出状況も精査を行ったうえで、岩手県における最低賃金の状況等も考慮しながら、検討を行っている。



指定管理で運営されている振興センター(花北振興センター)

図書館

Q 菅原ゆかり 議員

本年6月に読書バリ
アフリー法が成立し、
読書環境の整備が求め
られているが、図書の
貸し出しに関する障が
い者サービスの取り組
みについて伺う。

A 市長

全ての市立図書館で
は、点字表記のある図
書や大活字本、カセツ
トテープやCDに本の
朗読が吹き込まれた録
音図書、副音声や字幕
スーパード付きのバリア
フリー版DVDなどの
資料を所蔵し、それら
を貸し出している。
車いすを必要とする
方への対応として、大
迫、石鳥谷、東和の図書
館は閲覧スペースが1
階にあり、花巻図書館
では階段スペースに昇
降機を設置するなどし
ている。

また、毎年1回バリ
アフリー映画会を開催
している。



公共施設のバリアフリー化で設置された
花巻図書館階段の椅子型昇降機

国際リニアコ ライダー（ILC）

Q 近村 晴男 議員

国際リニアコライ
ダー（ILC）の誘致が
本県に決定した場合、
本市に期待される効果
について伺う。

A 市長

本市は空港を擁する
交通の要衝であり、ま
た多くの宿泊施設や観
光施設を有しているこ

とから、観光や物流拠
点など、一定の役割が
想定される。

また、メインキャン
パスとなることが想定
される奥州市や一関市
からも近いことから当
市の担う役割について
検討していく。

幼児教育・保育 の無償化

Q 櫻井 肇 議員

無償化に伴う市財政
運営への影響について
伺う。

A 教育長

無償化に係る市負担
分は2億7300万円
を見込んでいます。無償
化に係る事業のほか、
市単独で行う第3子以
降保育料等負担軽減補
助事業を含めると、無
償化後の市財政全体へ
の影響額は年間ベー
スで約2800万円の軽
減と試算している。

Q 櫻井 肇 議員

副食費を市が負担す
る考えについて伺う。

A 教育長

副食費を市が全額負
担した場合、年間5
00万円の負担が見込
まれる。無償化による
市財政への影響額は最
大で2800万円の軽
減にとどまるため、副
食費の財源としては不
足する。施行後さらな
る市の負担増が想定さ
れ、副食費を市が負担
することは難しい。

県立高校再編計画

Q 照井 省三 議員

前期計画を踏まえて、
後期計画に対する市の
考え方について伺う。

A 教育長

花巻北、花巻南、花巻
農業、花北青雲高校に
ついては、入学志願者

数が1倍を超え、大迫
高校は入学者数が増加
している状況にあり、
学級減や統廃合の必要
性がないと考える。昨
年から継続して学級減
等行わないよう強く要
望している。



中高一貫校として要望している花巻北高校

中高一貫校

Q 照井 省三 議員

花巻北高校の中高一
貫校の考え方について
伺う。

A 教育長

岩手中部地区におい
て県立の併設型中高一

貫校の設置に最も適しているのは、花巻北高校と判断し、要望している。

花巻北高校への新たな県立の付属中学校の設置をお願いするもので、市内の中学校を統廃合し県立高校に接続することや、中学校を県立に変更することはない。

Q 藤原 伸 議員

県立高校再編後期計画の岩手中部ブロック地域検討会議における中高一貫校新設提言の内容について伺う。

A 教育長

進学実績を上げていく県立一関第一高校と同様の、併設型中高一貫校の新設を要望した。現在市内から20数名の生徒が市外の進学校に通っており、通学時間

や二重生活を考えると、県の中部地域に進学を目的とした高校設立を望む。

災害公営住宅

Q 久保田彰孝 議員

災害公営住宅の問題点を指摘する声があるが、災害公営住宅と市営住宅との相違点について伺う。

A 市長

市営住宅は、公営住宅法で住宅に困窮する低所得者に廉価な家賃で賃貸するものであり、災害公営住宅も基本的に同じ条件である。

加えて東日本大震災で滅失した住居に居住していた、または復興計画で転居が必要となった場合とされている。通常の市営住宅より

手厚い支援が必要であり、自宅への見守り活動の年齢要件をなくして対象世帯を広げ、訪問回数も増やしており、社会福祉協議会でも訪問活動を行っている。



上町と仲町に整備された災害公営住宅（上町棟）

外国人材支援

Q 瀬川 義光 議員

市内業者における外国人材受け入れに係る支援策について伺う。

A 市長

市のホームページにおいて外国人向けに「Google自動翻訳サービス」を活用し、言語の多文化を図っているが正確な情報は伝わっていない場合もある。外国人労働者が増加する中、今後地域住民と相互理解を深めていただく必要がある。

| 産業分類 | 外国人雇用事業所数 | 外国人労働者数 |
|-------------|-----------|---------|
| 製造業 | 19 | 84人 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | 8 | 12人 |
| 建設業 | 5 | 14人 |
| 卸売業、小売業 | 5 | 7人 |
| 教育、学習支援業 | 5 | 9人 |
| 医療、福祉 | 4 | 4人 |
| その他 | 8 | 22人 |
| 計 | 54 | 152人 |

花巻市内の産業別・外国人雇用事業所及び外国人労働者数
(平成30年10月末現在)

用語解説

一般質問と質疑

「一般質問」は、市の行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行の状況や将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告や説明を求めたり疑問をただすものです。一般質問は本会議で行われます。

「質疑」は、議題となった案件について疑問点をただすもので、原則として自己の意見を述べることができません。質疑は本会議での議案審議等のほか、予算・決算特別委員会等の委員会でも行われます。

決算特別委員会 平成30年度各会計決算を審査

決算特別委員会が設置され、9月18日から20日までの3日間にわたり、平成30年度花巻市一般会計歳入歳出決算など7件の会計決算について審査を行いました。

本市の平成30年度一般会計決算額は、前年比マイナス0.6%の486億7234万円となりました。審査の結果、すべての決算が原案どおり認定すべきものと決定しました。

審査における主な質疑・答弁の内容は次のとおりです。

*会計年度任用職員

Q 導入に向けた委託の内容と導入した場合の財政負担は？

A 第一法規株式会社へ、移行に向けて法整備等を委託したもの。財政負担は、

現在の臨時職員がすべて移行したとして約2億円アップと試算している。

*子育て世帯の住宅取得支援事業

Q 奨励金の交付件数は、目標値10件に対し、実績29件の地域別と内容別件数は？

A 地域別では花巻地域26件と石鳥谷地域3件となっており。花巻地域は親と同居が4件、親の近所に居住が12件、生活サービスマチ点へ居住が10件。石鳥谷地域では近居が1件、生活サービス拠点が2件となっている。

*障がい者福祉費

Q 障がい者雇用促進支援事業奨励金の実績は？

A 一般企業の実習につながる方がいなかったことで、平成30年度においては実績がなかった。今後も制度についてPRを行っていく。

Q 在宅超重症児(者)短期入所受け入れ支援給付の成果と施設との連携の課題は？

A 平成30年度の利用者は1名で13回。受け入れ事業所は2事業所。短期入所事業所拡大、日中の支援は難しいが今後、他の診療所にも働きかけていく。

Q *小中高生医療費助成所得制限を撤廃する検討は？

A 随時シミュレーションを行っており、特に中高生については、市の単独事業になるため、今後、子育て支援全体の中で実施できるかどうか判断していく。

*公共施設マネジメント計画

Q 公共施設マネジメント実施計画は3月までに策定するとされていたが、いつごろになるのか？

A 各部の意見を整理し協議を進める中で相当時間を要するのが実態であり、国が求める令和2年度をリミットとしつつ、できるだけ早い時期に策定したい。

*避難対策事業

Q 自主防災組織への避難行動要支援者名簿の提供について、同意率と条例化の考えは？

A 同意率は平成30年10月時点で73.3%となっている。同意率が上がらない中で、逆手上げ方式(同意しない方に手を上げていただき、手を上げない方は同意とみなす)など条例化に向けて作業を進めている。12月の議会に上程したいと考えている。

*道路パトロール

Q 道路パトロール等の外部委託の予定は？

A 各部署から聞き取り、共通部分については外部委託を検討する。



開館から40年以上が経過している花巻市文化会館

*** 督促状の手数料納付**

Q 固定資産税の納付督促状の手数料が「ゆうちょ銀行」で納付ができない。この対策は？

A 納税は、コンビニ収納や平成28年度からはゆうちょ銀行でも取り扱っているが、手数料はゆうちょ銀行の承認を得ていない。今後、協議し取り扱いできるように検討していく。

*** 生活保護費**

Q 生活保護受給者の医療扶助の対象病院に整骨院は入らないのか？

A 整骨院等については、国からの基準が示されており、病院からの紹介状を持ったうえで受診をしていただく。

*** 健康長寿**

Q 敬老会事業補助金はどのような配分か？

A 75歳以上の方1万7497人分、一人あたり1200円を各地区に交付している。



敬老会で小学生がお祝いのメッセージを渡しました（亀ヶ森地区）

*** 保育サービス向上支援事業**

Q 病後児保育の職員体制と勤務形態は？

A 職員は、看護師1名、保育士2名。非常勤体制ではあるが、勤務条件を確認し、雇用契約書を結んでいる。

*** 介護人材確保事業**

Q 対象とその内容は？

A 高校生に対しての介護セミナーを実施。学校へ出向き、地域の社会福祉法人の職員が講演し、花巻東高校180人、大迫高校46人、花北青雲高校42人が受講。

中学生へは、平成30年度の実施はなかったが、今後内容も考慮しながら行いたい。

*** 学力調査**

Q 市が行う到達度学力調査の対象は？

A 国、県が行う学力調査の対象学年以外の小学校3年生、4年生、中学校1年生を対象に花巻市独自で児童生徒の学力を把握して、課題を明確にしながら指導を充実させるため実施している。

*** エアコン設置**

Q 普通教室以外へのエアコン設置要望はなかったか？

A 学校の施設担当者等との教室にエアコンが必要か精査して決定している。



教室にエアコンが設置され、教育環境の向上が期待される（南城小）

が知り合いの学校経験者にお願ひして推進員としている。

*** 児童生徒表彰**

Q 児童生徒表彰の時期は適切か？

A 平成29年度と30年度はインフルエンザの蔓延時期で学校に出向いて表彰した。今後、表彰時期や表彰形態について再度検討する。

*** DV対策**

Q DVや虐待の相談状況はどうか、相談員の対応人員に不足はないのか？

A DVの相談員は1人、相談件数は91件。児童虐待の相談員は3人で、相談件数は81件、一時保護が19件。相談員の数は昨年度に増員しており、当面は現状で対応する。

*** ふれあい教育推進員**

Q ふれあい教育推進員の人材確保は？

A 人材確保には苦勞しており、学校現場の先生方

***花巻駅周辺整備**

Q 花巻駅周辺整備基本計画調査の結果は？

A 花巻駅の東西自由通路、橋上化の検討にあたり、具体的な事業規模、事業手法、事業費、課題等の調査を行い現在JRと協議を進めている。



花巻駅西口。改札口のある東口へは地下道で連絡

***図書館複合施設**

Q 図書館複合施設等整備方針検討の結果は？

A 現状調査、図書館の候補地の整理等検討の結果、商業等の複合施設は難しい状況となった。

***総合花巻病院**

Q 新総合花巻病院での助産師外来など、診療科目は当初の計画案どおりなのか？

A 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、内分泌代謝科、外科、整形外科、神経内科、リハビリテーション科及び総合診療科の10科目は予定どおり開設される予定。皮膚科、眼科、小児科、助産師外来の4診療科については来年3月からの開院に合わせた開設は困難な見込みとなっている。

***就農者支援**

Q 新規就農者の経営支援給付金として150万円があり、平成30年度は12経営体に支給されているが、支給対象から外れる方もいるのか？

A この事業は農業次世代人材投資資金給付事業であり、新規就農者のすべ

てが対象となるものではなく、年齢や将来の所得計画が要件に満たない場合は給付されないものである。

***認定農業者**

Q 担い手育成事業の中で、本市の認定農業者は684経営体となっているが、前年度との比較は？

A 684経営体は平成30年度末のものであり、平成29年度末は691経営体で7経営体の減少となっている。

***スマート農業**

Q スマートアグリ推進事業の中で、農業用ロボット技術およびICT機器導入支援補助金とあるが、交付は何件か。ドローンライセンス取得支援を受けた件数は？

A 導入支援補助金は、自動操舵システム導入経費補助金として1経営体に

交付した。ドローンライセンス取得支援は4経営体7人。



省力化が期待される農業用ドローン

***有害鳥獣対策**

Q 有害鳥獣対策事業として、現在、国内において豚コレラの発生が問題となっているが、感染源の1つにイノシシの関係があるが、対策についてはどうか？

A 30年度、被害防止計画捕獲頭数1643頭のうち、イノシシは3頭となっている。捕獲以外としては、電気柵の導入推進、今年度

は新規の取り組みとして、遠隔操作システムによる捕獲を実施することとしている。

***森林保全活動**

Q 森林保全啓発事業として、啓発イベント事業開催ごとの参加人数は、事業成果への今後の期待は？

A 各参加人数は、子ども植樹体験21人、山仕事の基礎講座9人、自伐型森林フォーラム82人、安全衛生推進講習会30人、自伐型林業養成講座24人、森林のめぐみ体験58人、合計224人。今後は、子どもたちにおける植樹などの技術を含めた森林の大切さの学び、及び森林山村多面的活動としての普及啓発のためのフォーラムや講習会などの開催を充実させていく。

平成30年度会計別決算額（歳出）

一般会計

486億7234万 303円

| | |
|----------------|----------------|
| 国民健康保険特別会計 | 89億8009万 939円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 20億8598万4595円 |
| 介護保険特別会計 | 102億1996万1276円 |
| 公設地方卸売市場事業特別会計 | 6302万1554円 |
| 汚水処理事業特別会計 | 2億3175万8941円 |

総額

702億5315万7608円

※平成29年度決算総額 ⇒ 727億4207万5557円

平成30年度

下水道事業会計
・公共下水道事業
・農業集落排水事業

○収益的収支

| | |
|------|---------------|
| 【収入】 | 34億9159万7013円 |
| 【支出】 | 34億2134万8437円 |
| 【損益】 | 7024万8576円 |

○資本的収支

| | |
|-------|---------------|
| 【収入】 | 22億8853万8871円 |
| 【支出】 | 34億6186万1889円 |
| 【不足分】 | 11億7332万3018円 |

常任委員会等の活動報告

【総務常任委員会】

◇9月24日（火）
* 所管事務調査「人口増加、定住・移住促進及び空き家活用促進の取り組みについて」

【文教福祉常任委員会】

◇9月24日（火）
* 所管事務調査「健康寿命の延伸について」
「コミュニティ・スクールについて」

【産業建設常任委員会】

◇9月25日（水）
* 所管事務調査「人・農地プランの実質化について」

【議会改革推進会議】

◇9月26日（木）
* 開かれた議会づくりの取り組み（本会議等の録画配信の実施について）

【市政調査会】

◇10月2日（水）
* 北上市議会との合同研修会「防災気象情報の活用について」



こだしま りつき
小田島 理月さん
(花巻北高校2年)

花巻市の未来へ ちょっと一言。



なかむら かずたか
中村 萬敬 さん
(石鳥谷町八重畑)

高齢者にも若者にも魅力的な街へ

花巻市の課題の一つに少子高齢化があると思います。この課題を解決するために、高齢者と若者が関わる機会が必要だと考えます。

花巻北高生でも自由研究のテーマに地域活性化を設定するなど、学生や若者の地域に対する関心や問題意識は決して低くはないと感じます。しかし、地域で暮らす高齢者の目線を十分に理解できていないと言えませんか。

高齢者と若者が交流し、互いに意見を交わすことで、両者ともが住みやすい街づくりができると思います。高齢者にも若者にも魅力的な街になることは課題の解決につながり、花巻市が夢のある街となる第一歩になるはずです。

中山間地域での早い基盤整備を

私は農業を本格的に始めて6年目になります。それまでサラリーマンをしていました。定年退職後、家業である農業を継ぎました。

稲作が主ですが、息子はレタスやネギなどの野菜づくりを頑張っています。中山間地域にも田んぼがあり、未整備のため水管理や草刈りが大変です。

自宅の周りは基盤整備も終わり、1ヘクタール区画で、パイプライン方式です。機械化によって作業は楽になりました。先行き不透明な農業情勢ではありますが、未来に貴重な農業を伝え、優良農地を後世に残す意味でも、中山間地域での農地の基盤整備が、早い時期に実現するよう期待します。

議会中継もスマホ・PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンでも視聴ができます。

また、えふえむ花巻 FM One 78.7MHz では後日、録音した本会議の音声を放送しています。

議会傍聴にぜひお越しを！

【9月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数34人

【12月定例会】

12月6日(金)開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 ☎24-2111(内線310)

編集後記

この10月から施行された消費税増税、それに伴う幼児教育・保育の無償化、花巻においては今後また、病院事情も大きな変化を遂げます。目まぐるしく変わってゆく世の中の動向に正面から向き合い議論を交わす議員の姿を、この議会だよりにお伝えしております。

「ちょっと一言」での若い方の参画も大変好評で、今後ますます幅広く市民の皆様にご覧いただけるよう努めてまいります。

(羽山 るみ子)

【広報広聴特別委員会】

- 委員長 瀬川 義光
- 副委員長 藤井 幸介
- 委員 久保田 彰孝
- 委員 羽山 るみ子
- 委員 佐藤 峰樹
- 委員 佐藤 現
- 委員 伊藤 盛幸
- 委員 若柳 盛
- 委員 盛岡 耕市